FUKUOKA
ONE HEALTH

令和８年度（２０２６年度）

みやま市教育施策

MIYAMA

みやま市教育委員会

目　次

1、はじめに　……（2）

2、教育方針と目標　……（2）

3、令和8年度（2026年度）教育方針の重点　……（3）

4、令和8年度（2026年度）主要施策　……（4）

【参考資料】

みやま市教育委員会組織図　……（15）

1. はじめに

みやま市では、本市の将来像を「人と自然が共に育み、つながり、成長し続けるまち」として、また、教育分野の基本方針に「豊かな心を育むまちづくり」を掲げ、2028年度を目標年次とした「第2次みやま市総合計画」を2019年8月に策定し、2024年4月、残り5年間を後期計画として改訂しました。

また、本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の基本方針を定める「みやま市教育大綱」についても、基盤となる「みやま市総合計画」の改定に伴い、今後5年間の教育方針や教育目標を定める内容に改訂しました。

この「総合計画」や「教育大綱」は、これから本市が取り組む教育行政の指針となります。教育委員会では、その方針に則り、目標達成に向けた年度ごとの具体的施策を定める「みやま市教育施策」を策定します。

2. 教育方針と目標

教育委員会では、教育大綱における理念に基づき、5年間の基本方針・基本目標を定めており、年度ごとの教育施策において、目標達成のために具体的施策に取り組みます。

【教育大綱の理念】　～　みやまに学び　みやまを愛し　みやまに生きる人づくり　～

【教育大綱の目標と方針】

○人権尊重の意識を高める教育・啓発の推進

①人権尊重の精神を基本とした学校教育　②市民への人権教育・啓発の推進

1. 生きる力を育む学校教育の充実
   （1）教育活動・内容の充実
   （2）教育環境の整備・充実
   （3）児童生徒への支援や交流事業の推進

2. ワンヘルス教育の推進とキャリア教育の充実
   （1）ワンヘルス教育の推進
   （2）キャリア教育の充実

3. 学びと活動の好循環を生み出す社会教育、生涯学習
   （1）地域や家庭の教育力の充実
   （2）生涯学習の推進

4. 文化・スポーツの振興と文化遺産の保護・活用
   （1）スポーツの振興
   （2）文化・芸術の振興と文化財の保護・活用

【教育方針の重点】

令和 8 年度教育方針の重点を、次のとおり定めます。

●ワンヘルスのまちみやま　●あいさつのまちみやま　●読書のまちみやま

令和8年度(2026年度)教育方針の重点

みやま市教育大綱　みやまに学び、みやまを愛し、みやまに生きる人づくり

令和8年度教育方針の重点　～人権尊重の意識を高める教育・啓発の推進を基盤に～

ワンヘルスのまちみやま　あいさつのまちみやま　読書のまちみやま

学校教育

学力向上

「思考力」～読む、書く、ＩＣＴ～

★授業の仕分け
基礎基本と深い学びを創る授業スタイル

★学習規律の確立

★読書

★みやまICTスタイル

ワンヘルス・キャリア教育

「プレゼン力＋行動力」

★わたしのワンヘルス宣言
（家庭でも、地域でも、英語でも）

★９か年のカリキュラム完成
（～９年度）

★小中高の交流事業の充実

主体的に
・教師も　子供も
・児童生徒の参画

安全教育

「危機を回避する力」

★いのちの教育
（防災・救命・性　など）

★学校安全の日の取り組み

凡事徹底

「自治の力」～委員会活動、生徒会活動で～

★あいさつ　整理整とん　掃除

★夢ノート　ドリームノート

教育環境の整備、充実　**児童生徒への支援**　**支援・交流事業の推進**

社会教育

地域や家庭の教育力の向上

「生活習慣の定着」

★青少年健全育成事業の活性化

★家庭教育推進事業の活性化

★あいさつ日本一運動の推進

生涯学習の推進

「学びと活動の好循環」

★公民館事業の活性化

★頭と心を充たす読書環境の創出

★人権教育の推進

ひとづくり
つながりづくり
地域づくり

スポーツの振興

「スポーツで元気づくり」

★スポーツイベントの充実

★利用者のニーズに対応した施設の活用

★筑後広域公園周辺の自然環境を活用した屋外事業の充実

★指導者の育成と関係団体の連携強化

文化・芸術の振興

「郷土への誇りと豊かな心の醸成」

★文化事業の推進

★伝統芸能の継承　★文化財の保護、普及啓発

学校を核とした地域づくりへの支援（コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業）

4、令和8年度（2026年度）主要施策

○人権尊重の認識を高める教育・啓発の推進

全ての市民が、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得し、様々な人権問題の解決への理解を図るとともに、豊かな人権文化の実現に向けた施策を推進します。

（学校教育課学校教育係、指導室）

① 人権尊重の精神を基本とした学校教育 人権に関する知的理解と人権感覚を基盤として、自分と他者との人権擁護を実践しようとする意識、意欲や態度を向上させること、そしてその意欲や態度を実際の行為に結びつける実践力や行動力を育成します。	
人権尊重を基盤とした授業構築・活動の推進	●学校の教育活動において、自分や他人の大切さ・違いが認められるような環境づくりと指導内容や方法について研究を深める。 ●あらゆる感染症等に対する偏見・差別の解消・予防に向けた指導内容や方法についての研究を進める。
人権教育推進事業	●人権教育の充実を目指した教育課程の編成や人権教育の視点に立った生徒指導の在り方、指導内容や指導方法などを推進する。 ●性の多様性に係る教育活動の充実・発展を図るための指導助言を行う。 ●人権尊重の視点に立った学習指導の在り方についての認識を深め、系統性・連続性を意識した人権・同和教育の推進につなげる。

（社会教育課人権・同和教育係）

② 市民への人権教育・啓発の推進 自他の基本的人権の尊重を認識し、様々な人権問題の解決への理解を図り、市民一人ひとりの参加による人権尊重のまちづくりを目指した教育・啓発を推進します。	
みやま市人権教育・啓発基本指針に基づいた市民への教育・啓発	●福岡県同和問題啓発強調月間（7 月）や人権週間（12 月）に合わせて、市民を対象とした街頭啓発、イベント（みやま人権デー）、研修会を実施する。 ●公民館役員研修会等で、人権問題に係るチラシ等の資料配布や説明を行い、研修機会の増加を図る。 ●校区公民館やまちづくり協議会等の単位でセミナー、出前講座等を開催し、全校区開催を目指す意図的・計画的啓発を行う。 ●小中学生人権作文を「広報みやま」に掲載し、みやま人権デーで、掲載作文の発表・展示を行い、人権意識の高揚を図る。 ●人権・同和教育研究団体等と連携し、教職員・市職員等の研修会を実施し、主体的参加を促す。

1. 生きる力を育む学校教育の充実

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け「個別最適な学び」「協働的な学び」を通して自ら生きる力を培うことのできる児童生徒の育成を目指します。

－ 学力向上 ・ 安全教育の徹底 ・ 凡事徹底－

（学校教育課学校教育係、指導室、社会教育課図書係）

(1)学力向上と思考力の伸長を目指した教育活動・内容の充実

児童生徒一人ひとりが自分の良さや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら社会の変化を乗り越える体験を通して、自ら生きる力を育むことのできる児童生徒をめざします。

また、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教育活動の充実を図ります。

教科の本質を踏まえた授業改善と学力向上	●校長を対象とした学校力向上検証委員会において、学力向上及び教育課題についての協議、情報交換等を行う。 ●学力調査等の結果を踏まえ、担当指導主事の定期的な訪問による指導助言を行う。 ●校長会と連携した意図的・計画的な人材育成を行う。 ●教育研究所では、授業改善やICT（タブレット端末）の活用を前提とした授業の進め方について個別研究などを進める。 ●教育研究所員への計画的な参画を促し、様々な研究を通して教師力を高める。
読書・図書館教育の推進	●小中学校に学校司書を配置し、学校図書館教育担当教諭と連携しながら図書館教育の充実を図る。 ●学校図書館教育担当教諭と連携し、児童生徒の読書意欲を高め、読書の習慣化を図る。（家読、朝読、ベストセレクション、館内ディスプレイの工夫等の取組） ●調べる学習コンクールを実施し、市立図書館、学校図書館での調べ方を体得し有効に活用する力を養う。 ●市立図書館とも連携し、読書に対する児童生徒の意識向上を図る。
みやまICTスタイルの確立	●タブレットなど機器の更新や学校のネットワーク環境などの基盤整備を行い、児童生徒の更なる個別的な学びと協働的な学びの実現を図る。 ●みやま市独自でICT活用スキル、情報モラル育成計画を活用し、それを基にICT活用状況の把握と活用の促進を図る。 ●計画的に整備したICT機器や通信環境をより活用し、個別の最適化学習や教科指導の推進は教育研究所を中心に行い、役割を明確化し連携強化を図り推進する。 ●教育研究所では、教育 DX 関係の研修会を実施する。 ●教育職員の働き方改革や業務効率化を目指し、校務支援システムの活用による教育 DX の推進を図る。

（学校教育課学校教育係、指導室、教育総務課施設係）

（2）教師も子どもも「危機を回避する力」を身に着けるための安全教育

教育環境は安全・安心でなければなりません。環境の整備と職員に向けた研修、子供自身も日常生活において危機意識をもち、回避するための判断力などを身につける必要があります。学校と学校教育課、教育総務課が連携し、修繕や改善が必要な箇所等について教育環境の整備や充実を図ります。

いのちの教育の推進 （防災・救命・性など）	●市の地域・防災課、消防署や警察署と連携した授業や研修会等を実施し、児童生徒の防災・防犯意識の高揚を図る。 ●全教職員による学校危機管理研修を行い、学校事故再発防止に努めるとともに、普通救命講習等、教育関係職員の研修を充実し、資質能力の向上を図る。 ●児童生徒に対する安全教育の拡充を図り、児童生徒自ら危険を察知し、主体的な行動が出来るような対応能力の向上にむけ指導の徹底を図るとともに、小学6年生を対象とした普通救命講習会を継続的に実施する。
学校安全への取り組み	●「学校安全の日（2/26）」は、市内全小中学校において、命の尊さ、安全・安心な学校生活を送るための取り組みを推進する。 ●学校安全計画や危機管理マニュアルを定期的に見直し、事故の発生に備えた安全管理の強化に努める。 ●児童生徒が安全に安心して過ごせるよう、日常の学校施設の点検や、保護者・地域と連携した通学路の安全点検等により、児童生徒の安全確保を図る。 ●給食指導の徹底と食材の調理及び提供方法の工夫を図る。 ●学校の休業期間中に研修を行い、衛生管理やアレルギーに関する知識と意識の向上及び調理技術の向上を図る。 ●給食献立にはアレルギーや誤嚥を想定した徹底した安全管理が重要であることから献立委員会の充実を図る ●衛生巡回指導により、各調理場の施設環境、衛生管理状況、調理工程等を確認し改善に向け適切な指導を学校及び所長へ行う。 ●各学校施設の維持管理については、児童生徒の安全を第一に迅速かつ効果的な対応を行う。

（学校教育課学校教育係、指導室）

（3）凡事徹底

児童生徒が凡事徹底を基本とし、学校活動において委員会活動や生徒会活動等を通じて自治の力を育てる取り組みを進めます。

凡事徹底の推進	●あいさつや整理整頓、掃除などにおいて、児童生徒自身による働きかけや、計画性の定着を促し、計画・実践・発信する力が身につくように指導への支援と見取りを行う。

自治の力の育成	●キャリアパスポートの活用を充実させ、自主的な家庭学習を促すことで、自主性の伸長と目標設定・達成による自己伸長の認知に繋げることができるように活用方法についての指導を徹底する。 ●夢ノートとドリームノートの活用を充実させ、学んだことを振り返ることによって新たな学習や生活の意欲につなげたり将来の生き方を考えたりする機会を増やす。 ●生徒会活動や委員会活動等での主体的な活動を促す支援を行う。

2. ワンヘルス教育の推進とキャリア教育の充実

みやま市の特色ある取り組みとしてあげられるワンヘルス教育とキャリア教育の更なる充実を目指します。

（学校教育課学校教育係、指導室、社会教育課図書係）

(1)「プレゼン力＋行動力」を目指したワンヘルス教育の推進 あたたかな人の“和”と豊かな自然に恵まれた本市において、生まれ育った地域の環境を知り保全していくことの大切さや命について学び、自ら考えるワンヘルス教育を実施することで、児童生徒が広い視野を持ち、自然と調和しながら「生きる力」を身に付けることにつなげます。	
学校での取り組み	●県と連携したワンヘルス教育プログラムの開発を行い、教育課程にワンヘルス教育を位置付け（総合的な時間などを活用）、体験活動を通じて児童生徒へのワンヘルスの理念の普及並びにワンヘルスの精神の涵養を図る。 ●市民のワンヘルスに対する意識の向上のため、学校において実施する学習参観等を通じ、児童生徒が主体的に保護者や地域への情報発信を行うよう支援する。 ●ワンヘルスの実践事例集等を参考に、教科での授業実践を実施する。 ●発達段階に応じた体験を取り入れたカリキュラムや、小中の系統性や地域素材を生かしたカリキュラムなどの9か年のカリキュラムを完成する。 ●「みやまの宝発見！案内パンフレット～ワンヘルス編～」を活用し、ワンヘルス教育の指針を図る。 ●ワンヘルス教育推進モデル校に南小学校、山川中学校を指定する。
社会教育での取り組み	●図書館にワンヘルス特設コーナーを設置し、啓発を図る。

（学校教育課学校教育係、指導室、社会教育課社会教育係）

(2)キャリア教育の充実 児童生徒が高い志を持ち、自己の良さを生かしながら主体的に自己の進路を選択・決定し、生涯にわたって自己実現を図ることができるよう、キャリア教育を実践します。 また、小中高の実践交流を充実させることで、相乗効果による地域人材の育成につなげます。	
小中高の実践交流の充実	●小・中・高が連携して展開する教育活動を教育課程内外に位置付け、中学生への憧れ、高校生への憧れを抱くような機会を増やす。 ●全小中学校において山門高校での体験授業を実施するとともに、公民館や地域の事業等での（高校生との）再会や交流によって、地域の先輩後輩の関係が構築されることで、互いが成長し合い、みやま市の未来を支える地域人材育成に寄与する。

3. 地域・家庭教育力の向上と学びと活動の好循環を生み出す社会教育、生涯学習

地域・学校・家庭が連携・協働し、地域のかかわり、つながりを強化し、地域の活性化を推進します。また、市民が生涯にわたって主体的に学習し、その成果を地域で発揮できる環境づくりを推進します。

（社会教育課社会教育係）

(1)地域や家庭の教育力の充実

地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生し元気にする活動を推進します。また、子どもの生活習慣・学習習慣の形成をめざし、家庭教育力の充実を図ります。

地域学校協働活動推進事業	●地域と学校が連携・協働できる仕組みを活かし、学校と地域が共に活性化するように努める。 ●地域学校協働活動推進の意義や理解を深めるために、本部研修会を実施し、人材育成を図る。 ●子ども未来塾（放課後学習教室）により学習習慣の定着を図る。
青少年健全育成事業	●青少年育成市民会議を中心に関係機関・団体と連携し、自尊心と規範意識を持つたくましい子どもの育成を支援する。 ●青少年の体験活動を支援する。 ●県・南筑後地域自治体の協働により将来の地域のリーダーとして活躍する「人財」を南筑後地域未来の地域リーダー育成プログラム等により育成する。
家庭教育推進事業	●保育所・認定こども園や学校との連携を強化し、保護者等を対象に、家庭における子育てに関する不安を軽減するための研修会等開催を推進する。 ●子どもたちの基本的な生活習慣の定着をめざし「家庭の約束10か条」を年長児及び1年生の児童に配付し、取組状況を把握する。
あいさつ日本一運動の推進	●あいさつ日本一運動推進室と連携し、学校・家庭・地域・職場など、全市的なあいさつ運動を推進する。 ●小学生あいさつチャンピオン大会、あいさつ日本一運動市民大会の開催について支援・協力する。

（社会教育課社会教育係、図書係）

（2）生涯学習の推進

市民が生涯を通じて主体的に学習し、その成果を地域で発揮できる環境づくりのため、学習機会の拡充、情報の提供、団体や指導者の育成など生涯学習社会に向けた施策を推進します。

公民館事業	●「みやま市人権教育・啓発基本指針」に基づいた学習を通し、お互いを尊重し地域で支え合う、人にやさしく明るい地域づくりを目指す。 ●「学びや活動の楽しさ」をテーマに、各年代に応じた公民館活動や世代を超えた交流を推進し、地域住民の「居場所づくり」に努める。 ●公民館施設や自治公民館等の環境整備を行い、利用促進を図る。 ●「公民館運営審議会」や「社会教育委員の会議」へ意見を求め、公民館活動等の充実に繋げる。
成人教育事業	●市民ニーズや時代に応じた講座開設やイベントの開催、また、関係機関と連携した学習機会の拡大拡充、環境整備を行う。 ●地域学校協働本部と連携し、ボランティアなど、地域人財の発掘・育成に努める。
高齢者教育事業	●はつらつ塾の活動を通して、生きがいのある学習機会を提供するとともに、塾で得た知識と経験をできる範囲で地域に活かすことで社会参加を促す。
図書館運営事業	●施設の適正な維持管理に努める。 ●積極的な研修参加により、職員・司書の資質向上を図る。 ●交流拠点としての魅力ある場づくりの工夫を図る。 ●電子図書の市民への普及・利用促進を図る。
図書館事業	●第４次子ども読書活動推進計画を推進する。 ●市民が利用しやすい読書環境や地域の知の拠点として健康長寿・障がい者支援・地域支援の充実を図る。 ●アウトリーチサービスの推進を図る。
与田準一記念館運営事業	●記念館所蔵資料の分類整理及び与田準一と交流の深かった作家の調査を通じて、新たな資料の発掘を進める。 ●市内各小学校の「総合的な学習の時間」における与田準一の学習への対応を充実すると共に、分かりやすい展示を工夫する。 ●与田準一に関する学習会を開催し、郷土文学の啓発に努める。

4. 文化・スポーツの振興と文化遺産の保護・活用

市民が文化・芸術にふれる機会の充実を図り、質の高い文化を創造するとともに、地域スポーツ・競技スポーツ・少年スポーツ・障がい者スポーツなど生涯スポーツを推進します。

長い年月の中で育まれ、守り伝えられてきた歴史や文化財、伝統芸能は、市のかけがえのない貴重な財産です。これまで培われてきた歴史、伝統文化を後世に継承するとともに、恵まれた文化遺産を活かしたひとづくり、まちづくりを推進します。

（社会教育課社会教育係）

(1)スポーツの振興

幼児から高齢者まで楽しさや生きがいの持てるスポーツ環境づくりのため、レクリエーションスポーツの普及や健康づくりに対して指導・助言等を行い、健康で明朗な市民生活を確立するための支援を行います。また市民が安心してスポーツを楽しめるよう体育施設の管理運営に努めます。

スポーツイベントの継続・充実を図り、「スポーツの力」でみやま市を元気にします。

スポーツイベントの充実	●幼児や高齢者等幅広い市民に体力測定を実施し、現状を把握するとともに、体力維持・向上と健康づくりに対する助言等を行う。 ●水泳教室等各種教室を開催するほか、誰もが楽しめるレクリエーションスポーツの普及を推進する。 ●ソフトボール大会、剣道大会の実施や、プロチーム・アスリートと連携し、競技スポーツを通じた青少年の心身の健康・技術の向上を図り健全育成に取り組む。 ●市民スポーツ大会、障がい者スポーツ大会、駅伝大会を実施し、地域交流と世代間交流を図る。 ●ラジオ体操講習会を実施し、ラジオ体操の普及に努め、市民の健康長寿を目指す。 ●地域のスポーツイベント、各団体等からの出前講座の依頼に対し、スポーツ推進委員を派遣し、審判及び、指導・助言等を行うことで地域スポーツを支援する。
利用者のニーズに対応した施設の活用	●利用者が安全・安心して利用できるよう、計画的な改修を行い、効果的・効率的な管理運営に努める。
筑後広域公園の利用促進	●みやま市民駅伝大会については、引き続き筑後広域公園で実施する。 ●松原堰上流においてカヌー・SUP 体験を実施する。
指導者の育成と関係団体の連携	●指導者・保護者・選手が共通して関心があるテーマで研修会を実施し、スポーツ安全教育に努める。 ●スポーツ協会やスポーツ関係団体との相互連携や、協力を進め、学校部活動地域展開も含めた指導者の確保と育成を支援する。

（社会教育課文化財係、社会教育係）

（2）文化・芸術の振興と文化財の保護・活用

市民が文化・芸術に触れる機会の充実を図り、文化の薫り高い「豊かなこころを育むまちづくり」につなげます。

また、長い年月の中で育まれ、守り伝えられてきた歴史や文化財、伝統芸能を保護し、これらを活用した人づくりやまちづくりを推進します。

文化事業	●総合市民センターの自主事業を通じて、市民が文化・芸術に触れるきっかけとなる鑑賞事業や体験事業を企画・実施する。 ●文化協会・美術協会等の活動を支援する。 ●市が創出したきっかけを起点に、市民や各種文化団体が自発的に活動を広げられるよう、発表・交流の場づくりを図る。 ●自主事業の実績と市民ニーズを積み上げながら、文化振興に係る独自事業の計画策定に向けた検討を進める。 ●総合市民センターをeスポーツ文化の発信拠点として位置づけ、福岡eスポーツ協会と連携した体験イベントや大会の開催を通じ、幅広い世代の市民が参加できる新たな文化振興を図る。
発掘調査	●埋蔵文化財分布把握充実のため、開発行為等に伴う事前調査（窓口照会・試掘確認調査）を実施する。 ●発掘調査出土品の台帳を整備し、展示等の活用を図る。
文化財保存整備	●「国史跡女山神籠石保存活用計画」に基づき、女山神籠石の保存活用を図る。
周知・啓発	●「文化財マップ」や「みやま市の民俗文化財」のパンフレットを活用し市内文化財の啓発を図る。 ●メタバースを活用した歴史資料館の整備を図る。
みやま市史の普及啓発と活用	●文化財や歴史など各種講座や研修会にて、これまでに刊行した市史の活用を図るとともに普及・啓発に努める。 ●子どもから大人まで、誰にでも分かりやすく編集した「普及版」の市民への普及、活用を促進する。

目標指標・数値

○人権尊重の認識を高める教育・啓発の推進

指標名	単位	年度実績	年度目標値	
		2025	2026	2028
地域人権セミナー・出前講座	回	4	5	6

○生きる力を育む学校教育の充実

指標名	単位	年度実績	年度目標値	
		2025	2026	2028
「学校の授業は楽しい」と答えた児童生徒の割合	%	小 95 中 89	小 95 中 90	小 95 中 90
「授業では自分の考えを書いたり話し合ったりしている」と答えた児童生徒の割合	%	小 93 中 92	小 90 中 85	小 90 中 85
「ICT を活用して自分のペースで学習ができている」と答えた児童生徒の割合	%	小 94 中 95	小 90 中 90	小 90 中 90
読書量（1日当たり 10 分以上読書する割合）	%	小 68 中 52	小 75 中 60	小85 中 65
小中学生であいさつをする人の割合	%	小 86 中 86	小 95 中 95	小 95 中 95
「自分にはいいところがある」と答えた児童生徒の割合	%	小 88 中 89	小 90 中 90	小 90 中 90

○ワンヘルス教育の推進とキャリア教育の充実

指標名	単位	年度実績	年度目標値	
		2025	2026	2028
ワンヘルスを説明できる児童生徒の割合	%	小 81 中 73	小 90 中 80	小 90 中 90
「将来の夢や希望を持っている」と答えた児童生徒の割合	%	小 79 中 72	小 90 中 80	小 95 中 90

○地域・家庭教育力の向上と学びと活動の好循環を生み出す社会教育、生涯学習

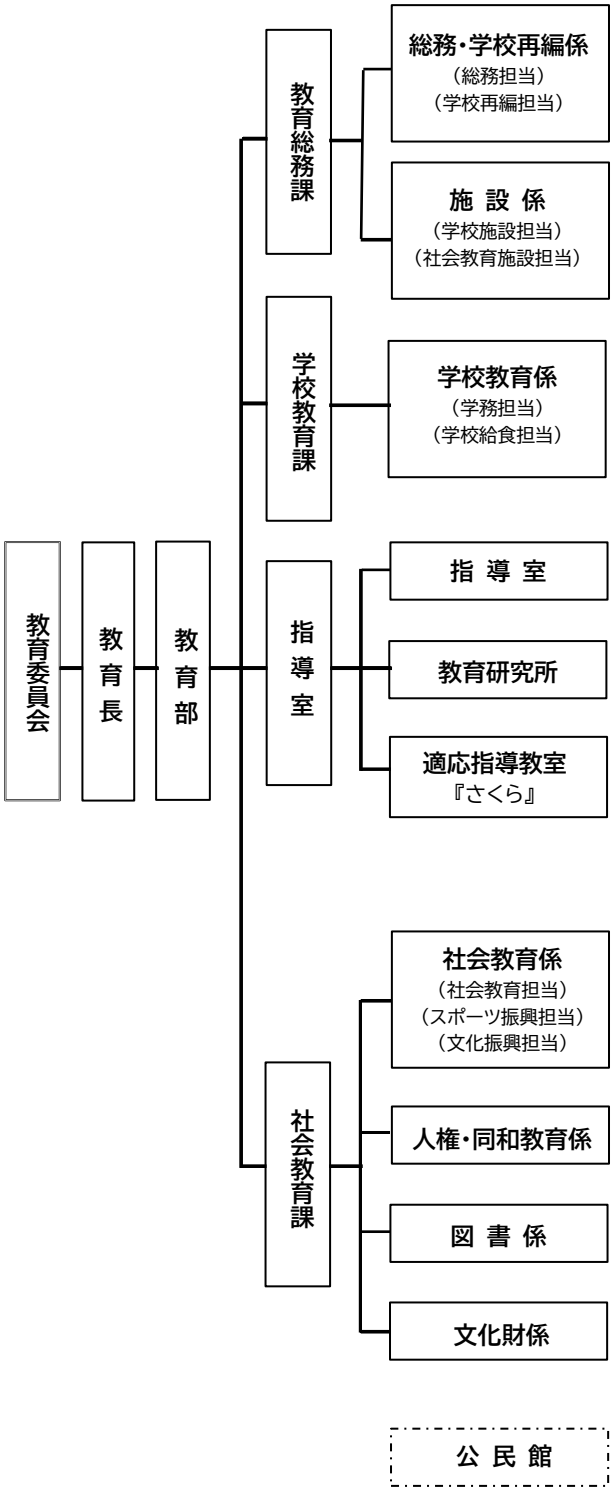
指標名	単位	年度実績	年度目標値	
		2025	2026	2028
学校支援ボランティア数（延数）	人	1,861	1, 800	1, 850
生涯学習講座開催数・参加者数	回 人	11 285	11 350	12 380

〇文化・スポーツの振興と文化遺産の保護・活用

指標名	単位	年度実績	年度目標値	
		2025	2026	2028
スポーツ施設利用者数 及び人口1人当たり利用回数	人 回	179,928 5.3	180,000 5.3	200,000 6.1
スポーツ事業への参加者数	人	2,800	3,000	3,900
社会教育施設利用者数 及び人口1人当たり利用回数	人 回	190,137 5.7	200,000 6.0	240,000 6.9
文化事業への参加者数	人	2,317	3,000	3,900
市立図書館来館者数	人	134,550	140,000	180,000
図書貸出冊数	点	200,903	224,400	250,000
与田準一記念館来館者数	人	5,863	6,000	8,000

みやま市教育委員会組織図

令和8年(2026年)4月



市立小学校(7校)

・瀬高小学校
・大江小学校
・南小学校
・水上小学校
・清水小学校
・桜舞館小学校
・高田小学校

市立中学校(3校)

・みやま中学校
・山川中学校
・高田中学校

学校給食施設

・山川学校給食共同調理場

社会教育施設(3館)

・みやま市総合市民センター
・みやま市山川市民センター
・みやま市まいピア高田

社会体育施設(4館)

・みやま市山川体育センター
・みやま市高田体育館
・みやま市瀬高 B&G 海洋センター
・みやま市高田 B&G 海洋センター

図書館(3館)

・みやま市立図書館
・みやま市立山川市民センター図書館
・みやま市立まいピア高田図書館

記念館・資料館(3館)

・与田準一記念館
・中島宏記念館
・みやま市歴史資料館